**震災訓練プログラムsaveMLAKメソッド・ファシリテーター養成講座**

**～あなたの図書館の震災訓練プログラムをつくる！～**

訓練シナリオを作成することはポイントを押さえればだれでも比較的簡単にできます。

体験した訓練のシナリオを書き換えて、自分の図書館だけのシナリオをつくりましょう。

**１．大震災状況シミュレーション訓練シナリオをつくるポイント**

**When　地震が起きる時期、時間帯をいつにするか？**

時期や時間帯によって利用者数が異なるため、平均的～利用者が多い時間帯を考えてみましょう。

※災害は地震だけでなく、大雨、土砂災害、高潮などありますが、これらの災害の場合は図書館が避難所になることはあっても、事前の気象条件から図書館は閉鎖していることが考えられるため、今回のメソッドでは地震を想定災害としています。

**What　図書館がある地域の震度や被害は？**

次頁の**２．自分の地域の被害想定を探すためのキーワード**を参考に、まずは図書館のある地域でどんな地震が想定されていて、どの程度の震度なのかを調べてみましょう。

想定災害、地震の規模（マグニチュード）、県内の最大震度、図書館がある地域の震度、津波の可能性

**Why　なんのために訓練をやるのか？**

何を知りたいか、共有したいか、強化したいか、など、訓練の目的を決めてから計画をたてるようにしましょう。

例えば・・・

　災害の時の対応なんて考えたことがなかった

　　防災マニュアルはあるが、一度も開いたことがない

　図書館のある地域の災害のイメージがない

　災害が起きた時の利用者への対応に地震がない　等

|  |
| --- |
| 訓練の目的、ねらい   1. 書架，本の危険性の認知 2. 防災シナリオにそくした具体的な訓練をすることで，防災の意識を高める   （準備不足であることを知る） |

**２．自分の地域の被害想定を探すためのキーワード**

|  |
| --- |
| **検索ワード**  **自治体名　地震　マップ　震度　被害想定　ハザードマップ**  **上記で資料が見当たらない場合は・・・（裏ワザ）**  **自治体名　地域防災計画　震災編　地震編**  **→上記計画の中の特に「総則」や「資料編」の検索で「震度　想定地震」で見つかることが多いです。** |

**京都府（京都市）**

<http://www.city.kyoto.lg.jp/gyozai/page/0000086399.html>